

第六期長期・調整計画策定委員会 傍聴者アンケート  
第10回実施分（令和5年2月9日開催） 自由記載欄  
【傍聴者 会場7名・オンライン137名】

○ 今回の策定委員会で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。（傍聴者4名記載）

- ・ブランディングという言葉が気になりました。現在の武蔵野市が進めているブランディングと市民が求めているブランディングが違うような気がします。投票率が低いということは市全体としてのコンセンサスが取れているわけではないのでズレが招じているのか？住みたい街ナンバーワンになることも多い武蔵野市ですが、その理由は緑の豊かさや交通の便の良さ、吉祥寺や井の頭公園の存在です。ですが今は住民投票条例、パートナーシップ条例、子どもの権利条例という施策で市をブランディングしているように感じます。果たしてそれが市民の求める武蔵野市のPRポイントで良いのでしょうか？それで武蔵野市の魅力が増し市街から転入が増えるのでしょうか？疑問です。
- ・シビックプライドという言葉も紹介されました。今の武蔵野市民は市民としての誇りがあるかぜひ調査してほしいです。シビックプライドをもたらす武蔵野市プレイスの正面に市民参加なしにトイレを移設新築するのはそのプライドを傷つけていることになるのではないのでしょうか？Prideよりも resentment が増すだけです。
- ・財政力について。豊かであるということは投資をしていなかったというようにも受け取れるという説明はなるほどと思いました。そういう観点から見るとプールも屋外廃止するかしないかではなくもっと市民が自慢できるような施設にするためにもっと投資するべきでは？そういう議論はなかったのか？ワークショップでは多摩市のアクアブルー多摩のような市街からも行きたくなる施設もありかも、天井開閉型にしたら、可動床タイプは？などと多くの市が提案した3案以外の意見が聞こえてきました。10案中の3案と、3案中の3案では選択肢も限られます。だから結果ありきのプール計画だと言われるのではないのでしょうか。
- ・人口推計について。日本の人口が減るといふ国の試算が出ているのに、「移民が来るかも」というタラレバで武蔵野市の人口が増加すると予想していたのは驚きました。増える場合、増えない場合、で試算するのが信頼のおける予測ではないでしょうか。委員の方の説明はかなり無理があると思いました。
- ・人口推計と長期計画の関係についてあまりよくわかっていらっしやらないのかな？と思う議員さんがいて気になっていたのですが、策定委員さんがわかりやすく説明してくださっていてよかったと思いました。

- ・自民会派が、六長調全体の話でなく、基本的に松下市政の揚げ足取りを一生懸命やっていた印象。  
(細かいニュアンスが違うかもしれませんが…)  
「住民投票条例を自治基本条例 19 条も含めて議論の俎上に乗せるべき」「子どもの権利条例が制定されることありきではないか」「吉祥寺駐輪場問題」などを殊更大きく取り上げてトピック化していた。六長調全体の話をする場だったはずなのに、焦点を歪曲化していたように感じた。
- ・これを上手くいなして、一応の議論のまとまりを形成するように努めていたのは、策定委員会の皆様だったという印象。お疲れ様でした。

## ○ その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。 (傍聴者 4 名記載)

- ・委員の皆様、長時間お疲れ様でした。とても分かりやすく、委員の方々の説明は興味深かったです。ありがとうございました。
- ・ZOOM で見るのができたのはよかったです。これを生かすのであれば、どの参加者も ZOOM にすれば、もっと明確に誰が発言しているのかわかると思いました。チャット欄を生かさないようにしていましたが、ちょっとした専門用語などを説明する用に生かして、職員の方が説明するのも試みとして楽しいと思います。そして、一日に詰め込むのはつらいです。残業も発生しています。ZOOM なら遠方の委員も参加しやすいと思いますので、二日に分ける試みもしてみてもいいと思います。
- ・策定委員・事務局・市議会議員のみなさま、朝から晩までの長丁場お疲れさまでした。  
子どもが入試直前で現地の傍聴へ行けなかったのですが、オンラインで全ての会派・議員との意見交換を傍聴することができました。オンラインで傍聴できるのは本当にありがたいです！  
また、策定委員長がフラットに会議を進行することにより変な対立構造が生まれず、市議・策定委員ともに有意義な意見交換がされていたのではないかと感じました。  
計画案での議会との意見交換時もぜひ、策定委員会としての開催と Zoom ウェビナーでのオンライン配信をお願いしたいです。  
(市議会主催の全員協議会形式だと、全員協議会室→中継システム自体がない、委員会室→市議会の中継システムだとマイクに難あり(音声ディレイ有、話者とマイクの距離によって音量の差が激しい)、進行が市議会形式の進め方になり「策定委員と意見交換」というより「策定委員吊し上げ」の雰囲気になりやすい、等の理由から策定委員会での開催を希望します)

- ・途中で、音声・映像の不調があり、大事な部分が届かなかった気がする。視聴環境の整備には、もっと気を使って欲しい。
- ・各議員からの質問に対し、策定委員それぞれが「個人的には…」との前置きで答弁していることが多かった。この先再検討する余地があるということを示したことは価値があるが、現時点での討議要綱が一枚岩ではないという印象も感じられたことはマイナス。わざわざ「個人的には…」との前置きを置かずとも、「再度揉んでみましょう」とだけ言えば良いのでは？
- ・「個人的には…」との前置きは、委員個人個人が、自分のためのアリバイ作りのために言っているように思われたのが、残念である。
- ・いずれにせよ、良い視聴機会を得られたと感謝します。現場傍聴だけでなく、オンライン視聴出来たことに価値がある。

※文字及び文章はできる限りアンケートに記入されていた原文のまま記載しています。  
また、委員名については削除しています。